

平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイケイ
 コード番号 2722 URL <http://www.ai-kei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括
 四半期報告書提出予定日 平成23年4月14日

(氏名) 飯田 裕
 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-486-5050

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	7,518	—	146	—	132	—	135	—
22年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第3四半期	7,691.78	—
22年5月期第3四半期	—	—

(注)平成23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年5月期の数値及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第3四半期	4,239	1,296	30.5	73,528.40
22年5月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 1,293百万円 22年5月期 一百万円

(注)平成23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年5月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	1,400.00	1,400.00
23年5月期	—	0.00	—	—	—
23年5月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,020	—	184	—	185	—	183	—	10,403.05

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

平成23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.**「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期3Q 19,520株 22年5月期 19,520株

② 期末自己株式数 23年5月期3Q 1,929株 22年5月期 1,929株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期3Q 17,591株 22年5月期3Q 17,591株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)	10
(1) 四半期貸借対照表	10
(2) 四半期損益計算書	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策による効果や新興国向けの輸出拡大などにより、緩やかに回復しつつあるものの、海外経済下振れ懸念および円高進行等の影響により依然として先行き不透明な状況の中で推移いたしました。

このような環境の下、通信販売事業では引き続き売れ筋商品の企画提案強化、自社開発商品(プライベートブランド商品)の開発強化に取り組む一方、販売費及び一般管理費の中で三大経費の1つとして管理しているカタログ作成コストの削減に取り組んでまいりました。

SKINFOOD事業では当第3四半期連結会計期間において新たに直営店舗2店(ルミネ池袋店、ルミネ立川店)を開設し、SKINFOODブランドの構築に取り組んでまいりましたことから、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は直営店9店舗、FC店3店舗の合計12店舗となりました。

CRMソリューション事業ではコンタクトセンター構築を主とした通話録音システムの販売に注力してまいりました。なお、CRMソリューション事業は当第3四半期連結会計期間から新たに連結子会社に加えたアルファコム株式会社が営んでいる主要な事業であります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は7,518百万円、営業利益146百万円、経常利益132百万円、四半期純利益135百万円となりました。

なお、当社は四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前第3四半期連結累計期間比較については、記載しておりません。

セグメント別の業績は次のとおりです。(売上は外部顧客への売上高を記載しております)

- ・通信販売事業

売上高は6,962百万円となり、セグメント利益は133百万円となりました。

- ・SKINFOOD事業

売上高は468百万円となり、セグメント利益は17百万円となりました。

- ・CRMソリューション事業

売上高は87百万円となり、セグメント利益は1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,239百万円となりました。このうち、流動資産は3,291百万円となり、主な内訳として受取手形及び売掛金が1,961百万円となりました。また固定資産は948百万円となり、主な内訳として有形固定資産が539百万円となりました。負債は2,943百万円となり、主な内訳として流動負債が2,235百万円となりました。純資産は1,296百万円となり、主な内訳として利益剰余金が651百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成22年9月14日付「連結決算の開始及び業績予想に関するお知らせ」で公表した業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前会計年度末以降に経営環境等かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる当第2四半期連結結果計期間の四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

②企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
 (平成23年2月28日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	250,405
受取手形及び売掛金	1,961,574
商品及び製品	957,249
その他	127,022
貸倒引当金	△5,168
流動資産合計	3,291,083
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	254,273
土地	260,225
その他(純額)	24,729
有形固定資産合計	539,229
無形固定資産	
のれん	49,228
その他	65,804
無形固定資産合計	115,032
投資その他の資産	
その他	302,315
貸倒引当金	△8,086
投資その他の資産合計	294,229
固定資産合計	948,491
資産合計	4,239,574
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,050,562
短期借入金	300,000
1年内返済予定の長期借入金	463,804
役員賞与引当金	16,000
ポイント引当金	15,271
返品調整引当金	11,487
その他	377,959
流動負債合計	2,235,083
固定負債	
長期借入金	541,557
退職給付引当金	49,754
役員退職慰労引当金	109,447
その他	7,451
固定負債合計	708,210

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成23年2月28日)

負債合計	2,943,293
純資産の部	
株主資本	
資本金	401,749
資本剰余金	324,449
利益剰余金	651,705
自己株式	△84,490
株主資本合計	1,293,414
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	24
評価・換算差額等合計	24
少数株主持分	2,842
純資産合計	1,296,280
負債純資産合計	4,239,574

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	7,518,139
売上原価	4,710,491
売上総利益	2,807,648
販売費及び一般管理費	2,661,556
営業利益	146,091
営業外収益	
受取利息	81
受取手数料	5,876
助成金収入	2,800
その他	1,148
営業外収益合計	9,907
営業外費用	
支払利息	13,434
為替差損	10,316
営業外費用合計	23,750
経常利益	132,248
特別利益	
投資有価証券売却益	1,799
特別利益合計	1,799
特別損失	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82
特別損失合計	82
税金等調整前四半期純利益	133,966
法人税等	△2,410
少数株主損益調整前四半期純利益	136,377
少数株主利益	1,070
四半期純利益	135,306

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成22年6月1日
至 平成23年2月28日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	133,966
減価償却費	52,315
のれん償却額	6,247
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△51
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	11,100
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,671
ポイント引当金の増減額(△は減少)	799
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,552
受取利息及び受取配当金	△81
支払利息	13,434
為替差損益(△は益)	9,188
売上債権の増減額(△は増加)	△103,591
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130,120
仕入債務の増減額(△は減少)	59,205
未収消費税等の増減額(△は増加)	4,139
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,935
その他の資産の増減額(△は増加)	10,513
その他の負債の増減額(△は減少)	16,838
小計	79,086
利息及び配当金の受取額	80
利息の支払額	△13,490
法人税等の支払額	△4,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△60,503
有形固定資産の売却による収入	323
無形固定資産の取得による支出	△1,188
投資有価証券の取得による支出	△3,371
新規連結子会社の取得による収入	12,100
貸付けによる支出	△32,910
貸付金の回収による収入	5,851
差入保証金の差入による支出	△62,596
その他	△5,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,824

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	299,977
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△342,847
配当金の支払額	△24,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	232,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	137,434
現金及び現金同等物の期首残高	107,707
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	250,405

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に通信販売事業、SKINFOOD事業、CRMソリューション事業を営んでおりますことから、当社グループは「通信販売事業」及び「SKINFOOD事業」並びに「CRMソリューション事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

(単位:千円)

	通信販売 事業	SKINFOOD 事業	CRMソリュ ーション事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	6,962,684	468,164	87,290	7,518,139	—	7,518,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	97,101	—	97,101	△97,101	—
計	6,962,684	565,266	87,290	7,615,241	△97,101	7,518,139
セグメント利益	133,124	17,253	1,960	152,339	△6,247	146,091

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,247千円は、のれん償却額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

当社は、従来「通信販売事業」及び「SKINFOOD事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、当第3四半期連結会計期間より、「通信販売事業」、「SKINFOOD事業」及び「CRMソリューション事業」の3つに変更しております。

この変更は、当第3四半期連結会計期間よりアルファコム株式会社を連結子会社としたことに伴い、「CRMソリューション事業」が新たに報告セグメントに加わったことによるものです。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	154,124	107,707
受取手形及び売掛金	1,915,288	1,789,519
商品及び製品	833,232	770,243
その他	135,267	120,054
貸倒引当金	△5,233	△5,219
流動資産合計	3,032,679	2,782,305
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	214,699	209,990
土地	260,225	260,225
その他(純額)	16,064	15,050
有形固定資産合計	490,989	485,266
無形固定資産	62,227	90,921
投資その他の資産		
その他	285,869	242,537
貸倒引当金	△8,140	△8,086
投資その他の資産合計	277,728	234,537
固定資産合計	830,945	810,639
資産合計	3,863,625	3,592,945

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,037,840	956,898
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	361,604	391,884
役員賞与引当金	13,300	4,900
ポイント引当金	15,271	14,472
返品調整引当金	11,487	14,039
その他	315,090	332,599
流動負債合計	2,054,592	1,714,793
固定負債		
長期借入金	324,407	498,950
退職給付引当金	49,754	43,083
役員退職慰労引当金	109,447	109,447
固定負債合計	483,609	651,481
負債合計	2,538,202	2,366,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	324,449	324,449
利益剰余金	683,690	584,962
自己株式	△84,490	△84,490
株主資本合計	1,325,399	1,226,671
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24	—
評価・換算差額等合計	24	—
純資産合計	1,325,423	1,226,671
負債純資産合計	3,863,625	3,592,945

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)
売上高	6,456,993	7,124,505
売上原価	4,133,902	4,561,554
売上総利益	2,323,090	2,562,950
販売費及び一般管理費	2,289,452	2,440,481
営業利益	33,638	122,468
営業外収益		
受取利息	200	405
受取手数料	5,851	5,583
その他	4,411	1,011
営業外収益合計	10,462	7,000
営業外費用		
支払利息	10,596	10,664
為替差損	354	38
営業外費用合計	10,951	10,702
経常利益	33,149	118,765
特別利益		
有価証券売却益	—	1,799
貸倒引当金戻入額	33	—
特別利益合計	33	1,799
特別損失		
投資有価証券評価損	2,064	—
関係会社株式評価損	1,197	—
資産除去債務影響額	—	22
特別損失合計	3,261	22
税引前四半期純利益	29,921	120,543
法人税等	13,751	△2,811
四半期純利益	16,170	123,355